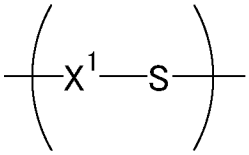
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年3月25日(2024.3.25)

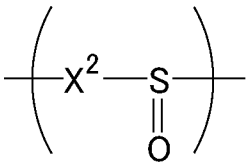
【国際公開番号】WO2022/270533
【出願番号】特願2023-530085(P2023-530085)
【国際特許分類】
C08G 75/0268(2016.01)
C08G 75/0286(2016.01)
【ＦＩ】
C08G 75/0268
C08G 75/0286

【手続補正書】
【提出日】令和5年12月22日(2023.12.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ジスルフィド化合物および／またはチオール化合物を含む単量体成分を触媒を用いて重合することによる硫黄含有重合体の製造方法であって、
前記触媒が鉄含有物質を含み、且つ、前記単量体成分１００モル％に対する前記鉄含有物質に含まれる鉄の量が５０モル％以下である
ことを特徴とする硫黄含有重合体の製造方法。
【請求項２】
前記重合を酸素存在下で行う、請求項１に記載の硫黄含有重合体の製造方法。
【請求項３】
前記重合を酸および／またはその塩を用いて行う、請求項１に記載の硫黄含有重合体の製造方法。
【請求項４】
前記鉄含有物質が酸化数が３以上の鉄を含む、請求項１に記載の硫黄含有重合体の製造方法。
【請求項５】
前記硫黄含有重合体にスルホン化剤および還元性物質を反応させる工程を含む、請求項１に記載の硫黄含有重合体の製造方法。
【請求項６】
前記硫黄含有重合体を酸化および／または精製する工程を含む、請求項１に記載の硫黄含有重合体の製造方法。
【請求項７】
下記一般式（３）で表される構成単位（Ａ）、下記一般式（４）で表される構成単位（Ｂ）、及び、下記一般式（５）で表される構成単位（Ｃ）からなる群より選択される少なくとも一種の構成単位を有する硫黄含有重合体であって、
前記硫黄含有重合体は、硫黄含有重合体１００質量％に対する鉄の含有量が０．００１～１０００００ｐｐｍであり、
該構成単位（Ｂ）の含有割合が、該重合体の全構成単位１００モル％に対して１～１００モル％であり、該構成単位（Ａ）及び該構成単位（Ｃ）の合計含有割合が、該重合体の全構成単位１００モル％に対して０～９９モル％であるか、または、

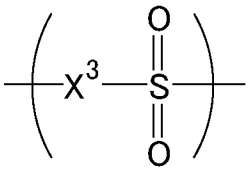
該構成単位（Ｃ）の含有割合が、該重合体の全構成単位１００モル％に対して１～１００モル％であり、該構成単位（Ａ）及び該構成単位（Ｂ）の合計含有割合が、該重合体の全構成単位１００モル％に対して０～９９モル％である
ことを特徴とする硫黄含有重合体。
【化１】



(3)



(4)



(5)

（式（３）～（５）中、Ｘ^{1}、Ｘ^{2}及びＸ^{3}は、同一又は異なって、置換基を有してもよい２価の芳香族炭化水素基を表す。）
【請求項８】
主鎖の硫黄原子Ｓに結合した酸素原子Ｏと該主鎖の硫黄原子Ｓとの元素含有比率（Ｏ／Ｓ）が０．１～１．５である、請求項７に記載の硫黄含有重合体。
【請求項９】
請求項１～６のいずれかに記載の硫黄含有重合体の製造方法により得られる硫黄含有重合体と、前記硫黄含有重合体以外の他の成分とを含むことを特徴とする硫黄含有重合体含有組成物。
【請求項１０】
請求項７又は８に記載の硫黄含有重合体と、前記硫黄含有重合体以外の他の成分とを含むことを特徴とする硫黄含有重合体含有組成物。
【請求項１１】
硬化性組成物および／または塗布用組成物である、請求項１０に記載の硫黄含有重合体含有組成物。
【請求項１２】
光学材料、オプトデバイス材料、又は、表示デバイス部材に使用される、請求項１０に記載の硫黄含有重合体含有組成物。